

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓ブランド活性化推進事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会 (TEL 0261-23-6511)
事業区分	農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,224,387 円 (うち支援金: 979,000 円)

事業内容

北アルプス山麓ブランドの海外に向けた認知度向上と販売促進を図るため、日本産食品に対する認知度の高い「台湾」において、現地店舗への輸出に取り組んだ。主な内容は以下のとおり。

- 北アルプス山麓ブランド品の海外展開「台湾」
 - ・事業者と裕源「裕毛屋」との商談(4月～6月)
 - ・北アルプス山麓物産展の開催
日時: 令和2年11月21日(土) 22日(日)
場所: 台湾・台中市 裕毛屋「公益店」
- ブランド品の認定審査
 - ・北アルプス山麓ブランド認定委員会の開催
新規認定(コロナ対策により審査員個別審査)
- その他(ブランド品PR)
 - ・「北アルプス山麓ブランドの日」でのPR
大町文化会館(令和2年10月25日)
 - ・中学生を対象とした食育授業のPR
白馬中学校(令和2年10月19日2年生64名)

事業効果

- ① 台湾における販路拡大(物産展を契機に取引開始)
 - ・取引品目数 48品(内ブランド品18品) 12事業者
- ② 北アルプス山麓ブランド新規認定品数
 - ・新規認定品目数5品目(4事業者)

事業者名	認定品名
特定非営利活動法人 みとろクリエイト	ドライトマト(仮称) ばいはるちゃんカレー
大町のつけものや	なすのからし漬
やさい畑のとんとん	野菜入りこんにやく
小谷の四季	酒粕ドレッシング

今後の取り組み

- ① 引き続き、台湾への販路拡大(輸出拡大)へ向け取り組み、特に、現地での取り扱い(商談成立)を目指した商品づくりの研究を進めていく。
- ② コロナ禍により、食品における販売展開が厳しい状況の中、地域内の優れた商品をブランド品として認定し、ブランド化による販売展開を進めていく。



【販売店チラシ】

【目標・ねらい】

- ① 北アルプス山麓ブランド品の認知度向上及び販路拡大
- ② 地域内にある優れた商品を認定し、商品のブランド化と販売促進を図る。

※自己評価【B】

【理由】

- ① コロナ感染症により現地に渡航して、販売促進はできなかったものの、当初予定した事業者(2事業者)以上の参加があった。
- ② コロナ禍により食品産業の販売不振の中、新品目として開発された商品を、ブランド品として認定することができた。